

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第25週 (ARIのみ第24週) の発生動向

トピックス

伝染性紅斑 (定点把握対象疾患)

第25週(6/16~6/22)の県内定点当たりの報告数が2.4となり、流行警報レベル開始基準値(2)を超えた。定点当たりの報告数が流行警報レベル開始基準値(2)を超えるのは2011年以来である。詳細後述。

全数報告の感染症 (25週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。
- 3類感染症：報告なし。4類感染症：日本紅斑熱1例。
- 5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒1例、百日咳53例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	粟粒結核	発熱、その他
		高鍋	80歳代	男	肺結核	痰
4類	日本紅斑熱	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、その他
5類	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	50歳代	女	—	ショック、腎不全、全身性紅斑性発疹
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群					症状	
				0~4歳	5~9歳	10歳代	30歳代	40歳代		50歳代
5類	百日咳	宮崎市	10例		2	4	1	2	1	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタック、ウーブ、嘔吐、その他
		都城	20例	3	6	10			1	
		延岡	2例		1	1				
		日南	4例		1	3				
		高鍋	13例		6	7				
		日向	2例			2				
		中央	2例		1	1				

定点把握の対象となる5類感染症

・第25週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は301人(定点当たり18.7)で、前週比115%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎、伝染性紅斑及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザ、水痘であった。また、第24週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,283人(定点当たり45.8)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は45人(3.0)で、前週比110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.9)の約1.0倍であった。年齢群別は5歳から8歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

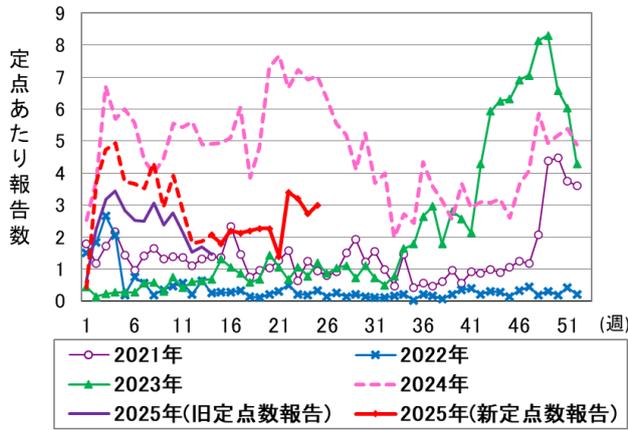
報告数は119人(7.9)で、前週比112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(8.0)の約1.0倍であった。年齢群別は1歳から4歳が全体の約4割を占めた。

【伝染性紅斑】

報告数は36人(2.4)で、前週比129%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.4)の約5.6倍であった。年齢群別は3歳から7歳が全体の約8割を占めた。

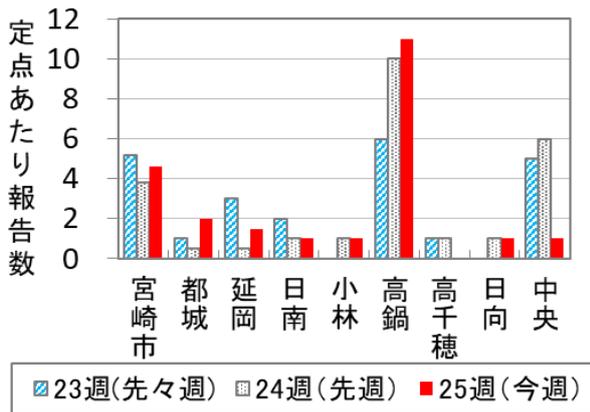
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

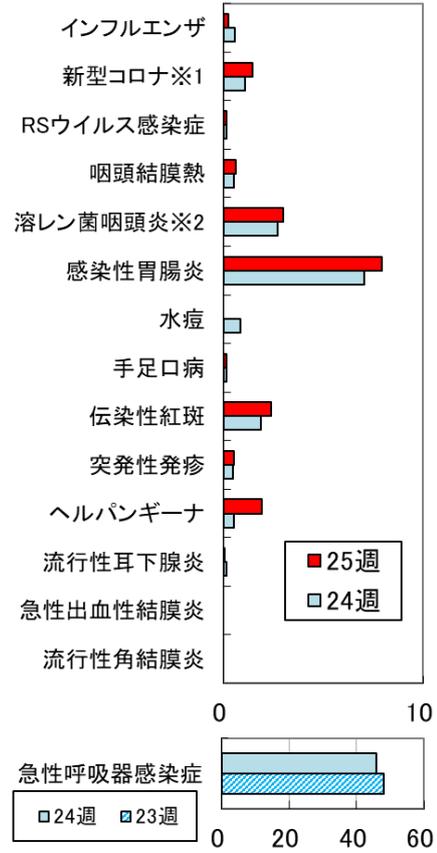


※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)

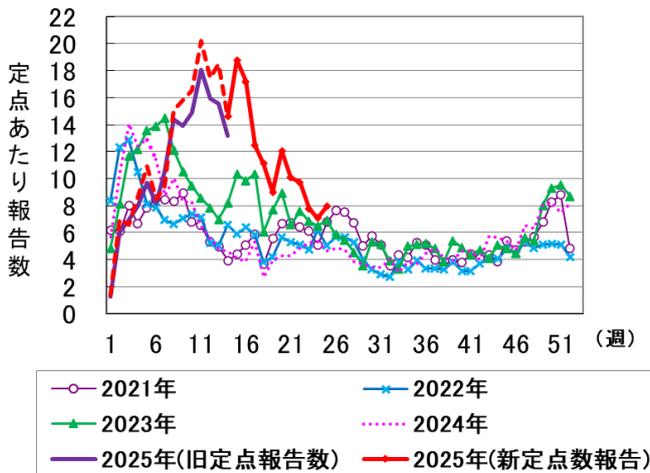


《前週との比較》



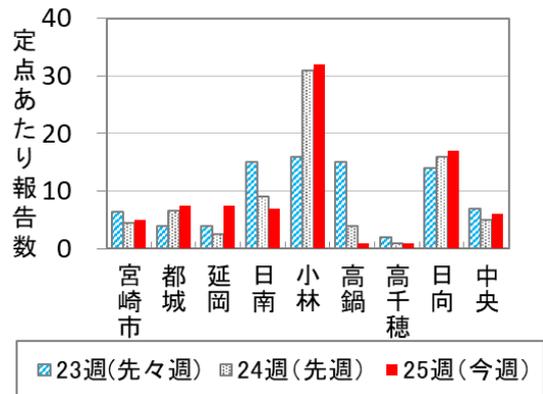
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

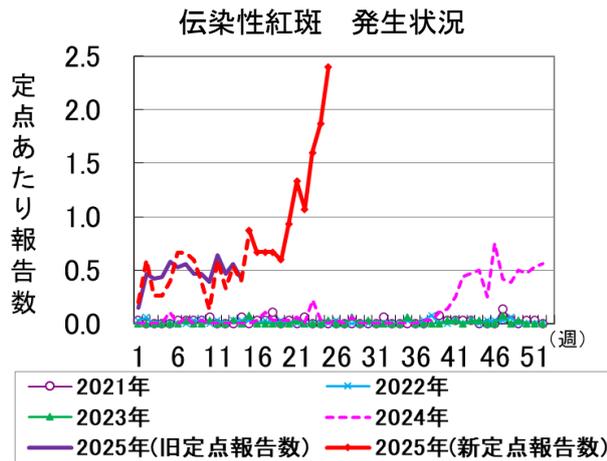
感染性胃腸炎 発生状況



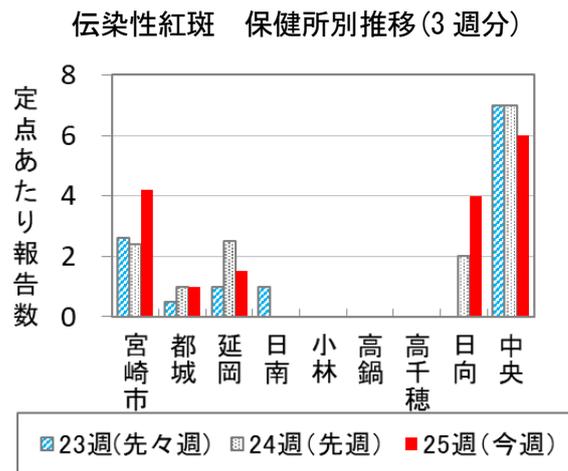
※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)





※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、高鍋保健所から報告があった。年齢は10～14歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は1例(定点当たり0.1)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は15～19歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(4.2)
都城	ヘルパンギーナ(6.5)
延岡	なし
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(32.0)
高鍋	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.0)
高千穂	なし
日向	伝染性紅斑(4.0)
中央	伝染性紅斑(6.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2025年第24週:6月9日～6月15日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		0	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	1	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		4	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
パラインフルエンザウイルス3型・ライノウイルス		2	
検出せず※2		3	
受付検体数		10	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては2025年6月23日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同日
EHEC (O103:HUT, VT1)	60歳代	女	2025.06.08	無症状	便	2025.06.19
EHEC (OgGp3:HUT, VT1)	0~4歳	女	2025.06.13	水様性下痢、血便、発熱	便	2025.06.20
EHEC (OgGp3:HUT, VT1)	50歳代	女	2025.06.13	無症状	便	2025.06.20

○1歳女児、50代女性及び60代女性から腸管出血性大腸菌(EHEC O103:HUT, VT1及びEHEC OgGp3:HUT, VT1)が検出された。腸管出血性大腸菌における感染症は、一般に初夏から晩秋にかけて多発することから、今後の発生动向に注意する必要がある。なお、宮崎県では毎年、保育園等で腸管出血性大腸菌の集団感染が発生しており、食べ物を介した感染だけでなく、簡易用ミニプール水等を介した感染等にも注意する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Parainfluenza virus 3	80歳代	女	2025.06.19	呼吸器ウイルス感染症疑い、38.0℃、咽頭痛、咳嗽	鼻咽頭ぬぐい液	2025.06.20
Parainfluenza virus 3	70歳代	女	2025.06.19	呼吸器ウイルス感染症疑い、37.7℃、咽頭痛、咳嗽	鼻咽頭ぬぐい液	2025.06.20
Parainfluenza virus 3	70歳代	男	2025.06.19	呼吸器ウイルス感染症疑い、咽頭痛、咳嗽	鼻咽頭ぬぐい液	2025.06.20
Parainfluenza virus 3	80歳代	女	2025.06.19	呼吸器ウイルス感染症疑い、咽頭痛、咳嗽	鼻咽頭ぬぐい液	2025.06.20
Parainfluenza virus 3	80歳代	女	2025.06.19	呼吸器ウイルス感染症疑い、38.3℃、咳嗽	鼻咽頭ぬぐい液	2025.06.20
Parainfluenza virus 3	90歳代	女	2025.06.19	呼吸器ウイルス感染症疑い、咳嗽	鼻咽頭ぬぐい液	2025.06.20
Parainfluenza virus 3	80歳代	男	2025.06.19	呼吸器ウイルス感染症疑い、38.0℃、咳嗽	鼻咽頭ぬぐい液	2025.06.20
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	70歳代	男	2025.05.07	インフルエンザB型、37.8℃、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2025.06.18
Influenza virus B (Victoria Lineage)*	10歳代	男	2025.05.14	インフルエンザ疑い、39.2℃、頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2025.06.18

* ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

📊 全国 2025 年第 24 週の発生动向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	233 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	68 例				
4類感染症	E型肝炎	13 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	8 例
	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	3 例	デング熱	1 例
	日本紅斑熱	19 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	68 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	23 例	後天性免疫不全症候群	19 例	ジアルジア症	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	15 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	61 例
	水痘(入院例)	16 例	梅毒	199 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	1 例	百日咳	2970 例	麻しん	6 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数(急性呼吸器感染症除く)は前週比96%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比93%と減少した。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は7,158人(3.0)であった。例年同時期の定点当たり平均値*(3.1)の約1.0倍であった。埼玉県(5.6)、茨城県(5.6)、愛媛県(5.5)からの報告が多く、年齢群別では4歳から7歳が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は4,780人(2.0)であった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.5)の約4.2倍であった。山形県(5.7)、北海道(5.0)、栃木県(4.4)からの報告が多く、年齢群別では3歳から7歳が全体の約7割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41 定点医療機関)

2025年 第25週(06月16日～06月22日)

疾病名		第24週	第25週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	16	7	5		1			1			
	定点当り	0.57	0.25	0.56	0.00	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	30	41	14		3	2	8	1	10	2	1
	定点当り	1.07	1.46	1.56	0.00	1.00	1.00	4.00	0.50	5.00	1.00	0.50
RSウイルス感染症	報告数	2	2	1	1							
	定点当り	0.13	0.13	0.20	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	8	9	5	2				2			
	定点当り	0.53	0.60	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	41	45	23	4	3	1	1	11		1	1
	定点当り	2.73	3.00	4.60	2.00	1.50	1.00	1.00	11.00	0.00	1.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	106	119	25	15	15	7	32	1	1	17	6
	定点当り	7.07	7.93	5.00	7.50	7.50	7.00	32.00	1.00	1.00	17.00	6.00
水痘	報告数	13										
	定点当り	0.87	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	2	2			1						1
	定点当り	0.13	0.13	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	28	36	21	2	3					4	6
	定点当り	1.87	2.40	4.20	1.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00	6.00
突発性発しん	報告数	7	8	4		3						1
	定点当り	0.47	0.53	0.80	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	8	29	9	13	2			4			1
	定点当り	0.53	1.93	1.80	6.50	1.00	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1			1						
	定点当り	0.13	0.07	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1						1			
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第24週(06月09日～06月15日)

		第23週	第24週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1344	1283	331	102	150	116	148	74	99	156	107
	定点当り	48.00	45.82	36.78	25.50	50.00	58.00	74.00	37.00	49.50	78.00	53.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～25週 保健所受理分)

2類感染症	結核	56例(2)											
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6例										
4類感染症	E型肝炎	2例				A型肝炎	1例				重症熱性血小板減少症候群	2例	
	つつが虫病	8例				デング熱	1例				日本紅斑熱	13例(1)	
	レジオネラ症	3例											
5類感染症	アメーバ赤痢	2例				ウイルス性肝炎	1例				急性脳炎	2例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例(1)				後天性免疫不全症候群	2例				侵襲性肺炎球菌感染症	17例	
	水痘(入院例)	1例				梅毒	71例(1)				播種性クリプトコックス症	1例	
	破傷風	1例				百日咳	1050例(53)						

()内は今週届出分、再掲